

# 学級活動 合意形成を図るまでの過程における 「ガイダンスとカウンセリングの一覧表」

「学校生活への適応や人間関係の形成などについては、主に**集団の場面**で必要な**指導や援助を行うガイダンス**と、個々の児童の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に**個別に対応した指導を行うカウンセリング**（教育相談を含む。）の双方の趣旨を踏まえて指導を行うこと。」

「小学校学習指導要領」（平成 29 年 3 月告示）

ガイダンスは、  
学級全体に指導すること。

「合意形成を図る」とは、互いの  
意見の違いを超えたり、よさを生かしたりしながら  
最終的に“自分もよくてみんなもよい”と  
いうように集団として意見をまとめること

「学級・学校文化を創る特別活動」 文部科学省

国立教育政策研究所教育課程研究センター（平成 28 年）



カウンセリングは、  
個別に支援・指導すること。

## 合意形成を図るまでの過程

①	学級目標やめあてを意識して話合いに参加する。
②	分かりやすく自分の意見を伝える。
③	友達の思いを受け止めながら意見を聞く。
④	友達の意見を聞くとき、その人の立場になって考える。
⑤	意見の似ているところや違うところを考える。
⑥	分からないことを質問する。
⑦	提案理由などを根拠に考える。
⑧	学級としての考えをまとめる。

※必ずしも①～⑧の順序で進むわけではないことに留意する。

合意形成を図るまでの過程について、学級会の事前、事後を中心に、ガイダンスとカウンセリングを相互に関連付けて計画的に実施します。ガイダンスは、年度当初などに行う学級会オリエンテーションや学級会の事前、本時、事後に学級全体に向けて指導します。カウンセリングは、ガイダンスで指導した内容に課題などがある児童に対して、個別に支援・指導します。その際、児童に直接言葉掛けをしたり、一人1台端末や学級会ノートなどに児童が書いた内容に対して、教師が記述したりすることで支援・指導します。記載した8点のガイダンスとカウンセリングの項目は、学級会の実践を積み重ねながら、支援や指導が必要な時に、段階的に実施します。

## ①学級目標やめあてを意識して話合いに参加する。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標やめあてについて、目指す姿やゴールのイメージを掲示物などで可視化して、共有できるように指導する。</li> <li>・学級会のはじめに学級目標や話合いのめあてを提示して、全員で復唱することで、意識を高める。</li> <li>・学級目標や話合いのめあてに注目するという視点をもつように指導する。</li> <li>・学級目標の意義を全員で共通理解できるように指導する。</li> <li>・話型指導「学級目標(話合いのめあて)が○○なので○○を提案します。」</li> </ul>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標やめあてをキーワード化し、一人1台端末や掲示物などで児童に提示し、学級会の前に支援する。</li> <li>・学級目標を決めた際の学級会ノートを見ながら、その時の記憶を想起できるように支援する。</li> <li>・計画委員会がめあてを設定した経緯を伝えて、理解できるように支援する。</li> </ul>

## ②分かりやすく自分の意見を伝える。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会の話型を示し、学級会の前に提案理由などを踏まえて、自分の考えを理由とともにまとめるように促す。</li> <li>・意見の伝え方を掲示して共有する。(簡潔に話す・声量・表情・視線など)</li> <li>・エピソード・動作・図・イラストを取り入れて説明するように助言する。</li> <li>・自分の意見が伝わるまで、分かりやすく言い直すように促す。</li> <li>・話型指導「○○を提案します。理由は○○だからです。」(結論+理由)</li> </ul>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末、図、イラスト、付箋などを活用し、発言以外の発表方法も選択できるように支援する。</li> <li>・学級会の前に、一緒に意見を考えたり、発言の仕方を支援したりする。</li> <li>・必要に応じて、メモを取りながら、自分の考えを整理するように支援する。</li> </ul>

## ③友達の思いを受け止めながら意見を聞く。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を否定しないで、肯定的に受け止めるように指導する。</li> <li>・友達の意見を遮らずに最後まで、しっかり聞くように指導する。</li> <li>・意見の聞き方を具体的に掲示して共有する。(視線・表情・相づち・態度・温かい雰囲気等)</li> <li>・反対意見や少数意見を大切にするように指導する。</li> </ul>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の「意見のよさ」を見付けるように、キーワードに注意して、聞くように支援する。</li> <li>・事前に出された意見を見ながら、友達がどのような思いで意見を出したのかを一緒に考える。</li> <li>・必要に応じて、メモを取りながら聞き、友達の思いを理解できるように支援する。</li> </ul>

## ④友達の意見を聞くとき、その人の立場になって考える。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会の前に、それぞれの意見の提案者の立場で考える時間を設ける。</li> <li>・友達の立場や思い、もち味を受け止めて友達の意見を聞き、考えるように指導する。</li> <li>・友達の意見を最後までしっかり聞くように指導する。</li> <li>・友達の言いたかったことが伝わりにくい場合は、代わりに説明するように促す。</li> <li>・話型指導「○○さんは、～と言いたいのだと思います。」</li> </ul>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末や掲示板などを活用して、自分以外の意見について共有し考えるように支援する。</li> <li>・自分以外の意見について、相手の立場になって考えるように支援する。</li> </ul>

## ⑤意見の似ているところや違うところを考える。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見の似ているところや違うところを自分の意見に取り入れてみるように促す。</li> <li>・意見の似ているところや違うところを参考にして、新しい意見を考えるように促す。</li> <li>・一人1台端末や短冊などを活用し、学級会の前に意見を分類して提示する。</li> <li>・話型指導「〇〇と〇〇の似ているところを合わせて、〇〇を提案します。」</li> </ul>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末や掲示板などを活用して、様々な意見を分類・整理して考えるように支援する。</li> <li>・ホワイトボードなどを活用して、様々な意見を一緒に操作化して考えるように支援する。</li> <li>・友達の意見と自分の考えを比べながら聞くことができるように、キーワードなどをメモしながら聞くように支援する。</li> </ul>

## ⑥分からないことを質問する。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いの進め方などについて分からない場合は、計画委員会に質問するように指導する。</li> <li>・学級会の前に意見を提示し、分からないことはないか確認するように指導する。</li> <li>・意見を比べ合う前に、「質問する時間」を設ける。</li> <li>・話型指導「〇〇〇についてよく分からないので教えてください。」</li> </ul>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋や一人1台端末などを活用して発言を促すように支援する。</li> <li>・分からないことが明確になるように支援する。</li> <li>・学級会の前に出された意見を見ながら、質問の仕方を支援する。 (原稿を考える。発言の練習をする。)</li> </ul>

## ⑦提案理由などを根拠に考える。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由を「現状の課題」「解決方法」「解決後のイメージ」の3段階に分けて作成するように指導し、共通理解を図る。</li> <li>・提案理由の「課題解決後のイメージ」を基にして、考えるように指導する。</li> <li>・提案者が提案理由を説明する際に、聞いている児童が理解できるように、色別の画用紙を活用して紹介するように指導する。</li> <li>・学級会の始めに提案理由を全員で復唱することで、意識を高める。</li> <li>・提案理由に注目するという視点をもつように指導する。</li> <li>・話型指導「〇〇を提案します。理由は〇〇(提案理由)だからです。」</li> </ul>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由をキーワード化し、具体例を一人1台端末や掲示物などで児童に提示し、学級会の前に支援する。</li> <li>・自分の意見と提案理由を照らし合わせて、どのような関連があるかを一緒に考える。</li> </ul>

## ⑧学級としての考えをまとめる。

ガイダンス (全体指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分もよくてみんなもよい」という視点で、考えるように促す。</li> <li>・学級としての考えをまとめる際に、学級にとって、何が一番ふさわしいかを学級目標、提案理由、話合いのめあて、条件などを基にして、再度考えるように指導する。</li> <li>・「私にとって～」から「私たちにとって～」のように主語を言い換えて考えるように促す。</li> <li>・学級としての考えをまとめる方法を指導する。</li> <li>・人間関係などに左右されず、意見の良さに着目し自分の判断で決めるように指導する。</li> <li>・自分の考えに固執し過ぎることなく、よりよい意見に決めるように指導する。</li> <li>・安易に多数決で決めないように指導する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">学級としての考えのまとめ方の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ方の視点を決める。</li> <li>・新しい考えをつくる。</li> <li>・少数意見の考えも考慮する。</li> <li>・意見を組み合わせる。</li> <li>・条件や優先順位を付ける。</li> <li>・提案理由を基にして決める。</li> <li>・学級目標を基にして決める。</li> <li>・共感的に理解し譲る。</li> </ul> </div>
カウンセリング (個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級としての考えのまとめ方を一人1台端末、掲示物などで提示して活用できるように支援する。</li> <li>・学級会における「出し合う、比べ合う、まとめる」の意味や流れを理解し、話合いの見通しをもてるように支援する。</li> </ul>

# 実践事例

表 1 検証授業の概要

学年・学級	内容	議題	本時のねらい
第 4 学年 2 組	学級活動 (1)	「みんなと仲良くなれる教室の遊びを考えよう。」	みんなとさらに仲良くなれる遊びをするために、教室内で行う遊びの内容を考えることができるようにする。
		「みんなが楽しめるお楽しみ会をしよう。」	学級の全員が楽しめる「お楽しみ会」にするための内容や方法等を考えることができるようにする。
		「思い出に残るお祭りをしよう。」	思い出に残る「お祭り」にするために、内容や方法等を考えることができるようにする。
第 5 学年 2 組	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	「みんなとの仲がさらに深まる教室の遊びを考えよう。」	みんなとの仲がさらに深まるために、教室内で行う遊びの内容を考えることができるようにする。
		「移動教室の思い出に残る学年レクリエーションを考えよう。」	思い出に残るレクリエーションの内容や方法等考えることができるようにする。
		「みんなが楽しめるスポーツ大会をしよう。」	学級全員が楽しめる「スポーツ大会」にするために、集会の内容や方法等考えることができるようにする。

表 2 合意形成を図るまでの過程 児童対象の意識調査結果 (検証授業前後)

	合意形成を図るまでの過程	肯定的回答 (検証前)		肯定的回答 (検証後)	増加
①	学級目標やめあてを意識して話し合いに参加する。	80.0%	➡	91.0%	11.0 ポイント
②	分かりやすく自分の意見を伝える。	78.5%		86.5%	8.0 ポイント
③	友達の思いを受け止めながら意見を聞く。	90.8%		100.0%	9.2 ポイント
④	友達の意見を聞くと、その人の立場になって考える。	80.0%		88.8%	8.8 ポイント
⑤	意見の似ているところや違うところを考える。	84.6%		86.5%	1.9 ポイント
⑥	分からないことを質問する。	55.4%		58.9%	3.5 ポイント
⑦	提案理由などを根拠に考える。	55.3%		68.0%	12.7 ポイント
⑧	学級としての考えをまとめる。	87.7%		92.8%	5.1 ポイント

表 3 検証授業中の児童の発言や記述に関連する手だて

学年 学級	概ね満足 できる活動 の状況	児童の活動の様子 (分析の方法) ※下線は本研究の手だてと関連する内容	手だて	
			ガイダンス (全体指導)	カウンセリング (個別指導)
第 4 学年 2 組	86.4%	「〇〇さんと●●さんの <u>意見のよいところを合わせると遊びがもっと楽しくなると</u> 思います。」(発言)	⑤	⑤
		「質問の仕方や意見の付け足し方、意見の言い方が細かく書いてある紙を見ながら、発言することができました。」(学級会ノート)	②	②
		「自分の意見を発表した後に、今度は学級にとって何が一番ふさわしいのか考えて発表した。」(学級会ノート)	① ⑧	① ⑧
第 5 学年 2 組	86.2%	「意見を言った時、友達が「いいね」と言ってくれました。これからは、たくさん意見を言おうと思いました。」(発言)	③ ④	③ ④
		「〇〇について、分からないので教えてください。」(発言) 「〇〇について、 <u>タブレットを使って説明します。</u> 」(一人1台端末)	⑥	⑥
		「提案理由の「みんなが活躍できる」という視点で、学級の意見をまとめることができてよかったです。」(学級会ノート)	⑦ ⑧	⑦ ⑧

## 検証授業後の児童の声

「友達の意見を否定しない雰囲気になったため、質問や発言がしやすくなりました。」  
「自分が言った意見にみんなが付け加えてくれて、よりよい意見になった時は、嬉しかったです。」  
「みんなにとって、何が一番ふさわしいかを考える時に、自分のやりたいことではなく、提案理由を参考にして考えました。」